DAIKEN

〈エアスマート〉専用部材

品　名
プッシュ式レジスター11型

形　名
SB0417－51（給気専用）

取付・取扱説明書

このプッシュ式レジスターは、DAIKEN〈エアスマート〉用換気扇を施工し、給気する場合に常時小風量換気方式の給気口、または局所換気部材の給気口として使用するものです。

■取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付けは工事店さまが実施してください。
■接続パイプは以下もしくは事前に組合せ確認を行ったいずれかをご用意ください。
　市販品の塩化ビニル管（呼び径Φ１００の４番管）または鋼板管（内径１００）のいずれか。

取付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

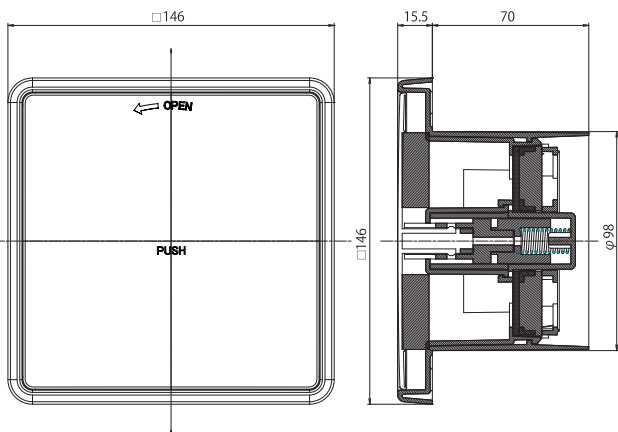
誤った取扱いをした時に生じる危険とその程度を
次の表示で説明しています。

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損失に結びつくもの

●取付けは確実に行う
（落下によりけがをするおそれがあります）
●取扱い時、手袋を着用する
（端面などでけがをすることがあります）

取付け前のお願い

■次のような場所には取付けないでください。変質します。
●高温（４０℃以上）になるところ
●浴室・洗面所など湿気の多いところ
●台所など油煙のかかるところ
●周囲に障害物があるところ
■取付けは、壁取付けとし、天井には取付けないでください。
■下記の環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。
屋外温度-５℃以下で室内温度１５～２５℃・室内湿度４５％以上
■寒冷地区の場合は冷気が直接入ってくることがあります。
（表面シャッターの使用方法をご確認ください）

外形寸法

■適合パイプ
●塩化ビニル管
Φ１００（４番管）
●鋼板管
Φ１００

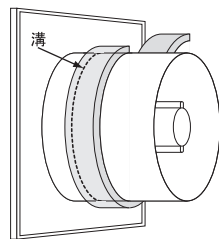
■寸法
奥行８５.５×幅１４６×高さ１４６㎜

■同梱品
・クッション（7㎜厚）
1本〈VU管用〉
・クッション（3㎜厚）
1本〈VP管用〉
※パイプ内径に合わせてクッションを選びます。

取付け前の準備

[VU管を使用する場合]
同梱のクッション（7㎜厚）を
パイプガイドの溝に沿って巻きつけます。

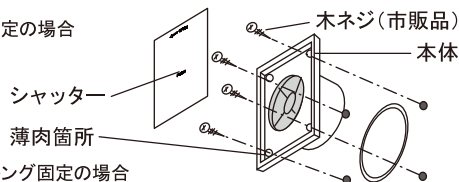
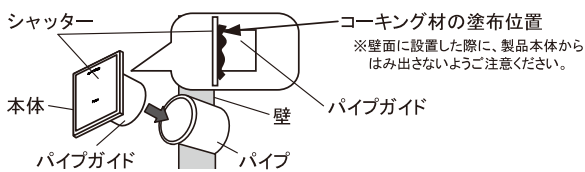
[VP管を使用する場合]
同梱のクッション（3㎜厚）を
パイプガイドの溝に沿って巻きつけます。

●クッションの巻き付け位置は右図を参照してください。
●クッションの貼付けを確実に行わないと、パイプと本体とのすき間から雨水やホコリが浸入して壁を汚すことがあります。

【別売フィルターは以下のいずれかの方法でお求めください】〈フィルターは1年を目安に交換してください〉

	工務店様からフィルターを購入される場合	お施主様がフィルターを直接購入される場合
Φ１００タイプ（本体形名SB０４１７－５１）	大建工業形名 SB０４９９－K０４　　５枚入 プッシュ式レジスター１１型専用交換用フィルター	大建プラスチックス形名 KF２－１００MPS４－５　　５枚入 １００MPSK４用：角型プッシュ式レジスター用フィルター
購入方法	工務店様にお問い合わせください。	お問合せ先：大建プラスチックス株式会社 HPｱﾄﾞﾚｽ　http://www.daikenplastics.co.jp 大阪）TEL：(06)6724－0331　FAX：(06)6724－0341 東京）TEL：(03)3313－7211　FAX：(03)3313－7516 左記の電話、FAX、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの何れかの方法で購入ください。

DAIKEN 大建工業株式会社
本　社：〒530-8210　大阪市北区堂島1丁目６番２０号　堂島アバンザ２２F

お問い合わせ　建築音響部　サウンドセンター
（東京）電話（０３）６２７１-７７８５　（岡山）電話（０８６）２６２-０１９８

取付方法

1．壁厚に応じてパイプの長さを決める。

2．壁穴にパイプを差し込み確実に固定する。

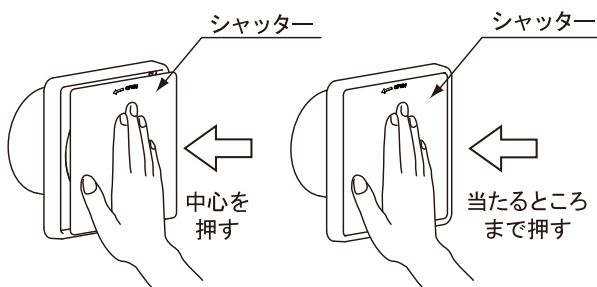
3．表面シャッターをはずす。
●表面シャッターを手で「押す」ことにより開きます。
シャッターを手前へ「引く」と本体から取外すことができます。

4．本体の薄肉箇所　（4箇所の薄肉箇所〈直径約5㎜〉）に市販の木ネジ（4本）で壁（木下地等）に確実に固定する。
●木ネジの頭が薄肉の凹み深さを超えないよう注意してください。

5．シャッターを本体に取付ける。
●ダクト内のホコリ、水分をきれいに拭き取ってください。

ビスだけで確実に固定できない場合（木下地等が無い場合）
●上記2の際に、パイプガイドの付根に市販のコーキング材を塗布し、固定します。

使用方法

表面のシャッターを手で「押す」ことにより
開閉を繰返し行うことができます。

●シャッターを「押す」ときは、本体の中の当たるところまで、完全に押し込んでください。押し込みが足りないと、開閉機構が作動しないことがあります。

●シャッターは、『全開』『半開』『閉』の３段階に作動します。
通常時は『全開』にしてご使用ください。
風、雨の強いときはシャッターを『閉』にしてください。

使用上のご注意

●製品の取扱いには注意し、変形、破損等のないようにしてください。

●シャッターに、物などを掛けたり、吊り下げるなど、換気以外の目的に使用しないでください。

●レジスターの周囲に家具、その他の障害物を置かないでください。
（通気量が不足するおそれがあります。）

●台風など暴風雨により、建物自体に被害がおよぶ事例もあります。
状況によっては、雨水が入らないよう対策をおこなってください。

お手入れ

フィルターやパネルにほこりが付着しますと風量低下、動作不良などの原因になりますので、約2ヶ月に1回を目安に清掃してください。

1．シャッター・操作部を外す

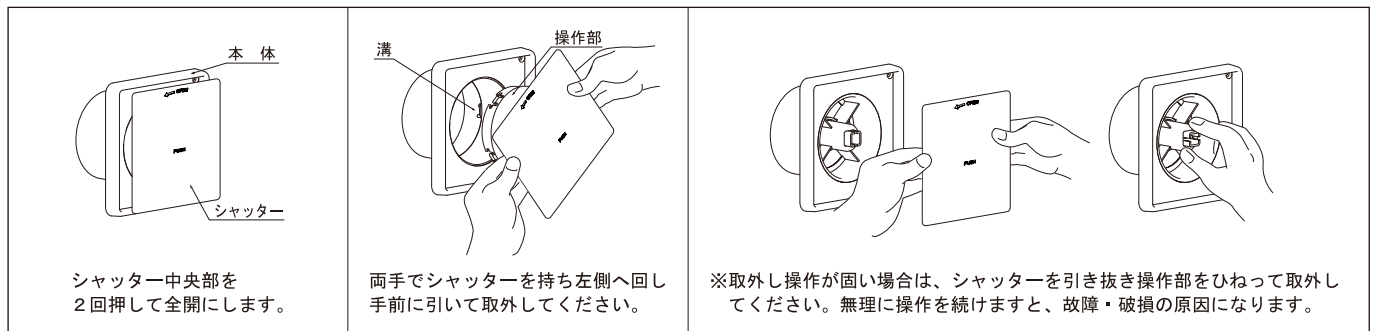
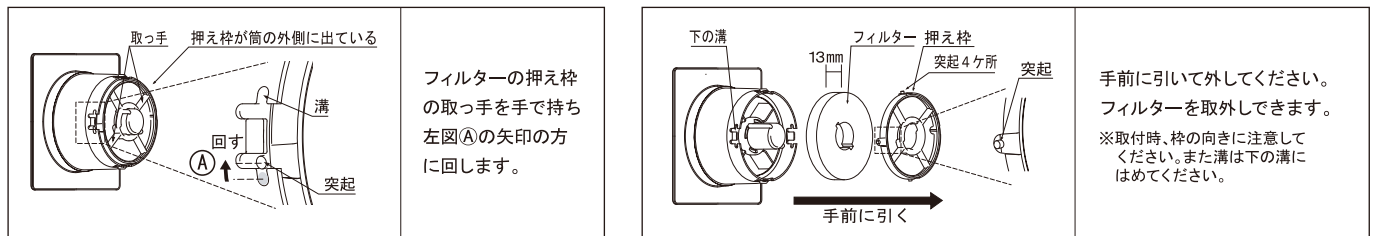
シャッター中央部を
２回押して全開にします。

両手でシャッターを持ち左側へ回し
手前に引いて取外してください。

※取外し操作が固い場合は、シャッターを引き抜き操作部をひねって取外してください。無理に操作を続けますと、故障・破損の原因になります。

2．押え枠を外し、フィルターを取外す

フィルターの押え枠の取っ手を手で持ち左図Ⓐの矢印の方に回します。

手前に引いて外してください。
フィルターを取外しできます。
※取付時、枠の向きに注意してください。また溝は下の溝にはめてください。

3．フィルターの清掃〈フィルターは再生タイプです〉
●軽く手でたたくかまたは、掃除機で吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。フィルターは、水洗い5～6回を目安にしてください。

4．フィルターの交換〈フィルターの交換は1年を目安に交換してください〉
●別売フィルターのお求めについては、本取扱説明書の表面をご覧ください。

5．パネルの汚れは、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

6．フィルター・パネルを元通り取付ける〈上記取外し方法の手順を逆に行ってください〉
●取付ける際は、本体・シャッター・操作部・押え枠の突起と溝の位置を確認して行ってください。

お願い

●フィルターを入れ忘れると壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。

●お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・
灯油・スプレー・アルカリ洗剤・
化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入りの洗剤
（変質・変色する原因になります）